

## 平成29年度 第3回千葉市スポーツ推進審議会議事録

- 1 日 時 平成30年2月7日(水) 午後2時00分～午後3時10分
- 2 場 所 千葉市教育委員会 第2会議室
- 3 出席者 (委員)  
小川直哉会長、本澤英雄副会長、小川重夫委員、五月女重夫委員、谷藤千香委員、馬場宏輝委員、松尾和美委員、山根和子委員  
(事務局)  
安藤生活文化スポーツ部長、塚瀬(公財)千葉市スポーツ振興財団施設長、阿部保健体育課長補佐、由利主任主導主事、山崎スポーツ振興課長、内山課長補佐、宇井担当課長補佐、笠井主査、草場主査、竹内主事

### 4 議 題

#### (1) 報 告

- ア 平成29年度スポーツイベントの開催状況について
- イ 平成29年度トップスポーツとの連携推進の取組み
- ウ FUN+WALK(歩きやすい服装での通勤推奨)の実施について
- エ 平成29年度千葉市スポーツ功労者について

#### (2) 議 事

- ア スポーツ実施率の向上に向けた取組の強化について
- イ 千葉市のスポーツ推進について【提言】(案)

### 5 議題の概要

#### (1) 報告

4項目の報告を行った。

#### (3) 議事

2件の議事については、概ね了承をいただき、提言案については修正事項等について後日会長と協議することとした。

### 6 会議経過

開 会 午後2時00分

【内山課長補佐】 それでは、定刻になりましたので、ただいまより、「平成29年度第3回千葉市スポーツ推進審議会」をはじめさせていただきます。本日の進行を務めます、スポーツ振興課の内山でございます。本審議会は千葉市情報公開条例により、公開することになっております。なお、本日は傍聴者はありません。また、会議終了後、議事録の作成、議事録の確定を行い、開示されることとなりますので、あらかじめ御了解ください。次第に従いまして、はじめに小川直哉会長にご挨拶をお願いいたします。

【小川会長】 皆さんこんにちは。本日はお忙しい中またお寒い中、第3回スポーツ推進審議会に出席いただいて誠にありがとうございます。2月4日は立春だったと思うのですが、暦の上では春だというのにまだまだ厳しい寒さが続いており、北陸の方は吹雪に見

舞われてお気の毒でございます。さて、平昌の冬季オリンピックがまもなく開催されます。日本の選手の活躍が期待されるところでございますが、それに反してと云いますか、千葉市のスポーツ実施率の向上についてはいろいろ議論していただいているわけですが、50%を目標に掲げている中で直近の調査では36%という低い数字になっておりまして、前回の審議会でも委員の皆様からいろいろ意見を出していただきましたが、本日も実施率の向上に向けて引き続き審議をしていただきたいと思います。そしてもう一つ、私ども任期が2年となっております今年6月までの期間ですが、今回が任期中最後の審議会ということで千葉市のスポーツに対する提言も今回審議事項になっておりますので併せて審議の方よろしく願いいたします。季節柄インフルエンザが流行っているようですが、委員の皆様と事務局の皆様も健康には充分留意していただきたいと思います。本日はよろしく願いいたします。

【内山課長補佐】ありがとうございます。続きまして、生活文化スポーツ部長安藤より、ご挨拶を申し上げます。

【安藤部長】皆さんこんにちは。本日は大変ご多忙のところ審議会にご出席いただきまして誠にありがとうございます。また日頃より千葉市政にご協力をいただいておりますこと厚く御礼申し上げます。さて今小川会長からありましたように、いよいよ明後日から平昌オリンピックが開催されるということですが、明日から男女混合のカーリング、ノーマルヒルが先行して開催されます。残念ながら千葉市からは出場選手はおりませんが、なんとか日本選手には頑張ってもらって活躍を期待しております。そして2020年東京オリンピック・パラリンピックまであと2年余りということで、今日時点でオリンピックまで898日、パラリンピックまで930日ということでございます。千葉市でも7競技種目が開催されるわけでありまして、ぜひこの大会を契機としまして、千葉市のスポーツ文化がレガシーとして残っていくために委員の皆様のご協力をお願いする次第でございます。さて千葉市のスポーツの現状でございますけれども、後ほどご報告させていただきますが、本年度も様々な大会やイベントが開催されてきて多くの市民が「する」、「見る」、「支える」と、それぞれの立場で参加していただいております。一方で、週1回以上のスポーツの実施率はなかなか向上しないという状況にありまして、特に働き盛りの方々の実施率が低いということで大変憂慮すべき点であると思っております。今後こうした年代の人たちの健康にも影響してくるのではないかと考えています。スポーツは心身ともに健康で豊かな暮らしをしていく上で大変意義があるものですので、千葉市としても実施率の向上に向けて取り組みを推進していきたいと考えております。本日は報告が4件、議事が2件と盛りだくさんでございますが、どうか皆様には貴重なご意見を賜りますようお願い申し上げます。本日はよろしく願いいたします。

【内山課長補佐】これからの進行につきましては、小川会長をお願いいたします。

【小川会長】まず、「議事録署名人」について、先程、進行の方から説明がありましたように、本審議会は会議が公開されており、議事録の確定方法については、「あらかじめ指名された委員」による承認にしたいと思っておりますが、よろしいですか。

【各委員】<異議なし>

【小川会長】それでは、議事録署名人として、五月女委員をお願いしたいと思います。

【五月女委員】<了承>

- 【小川 会長】 それでは、会議次第に従いまして、進めてまいりたいと思います。  
最初に、報告（１）の「平成２９年度スポーツイベントの開催状況について」、事務局よりお願いします。
- 【草場 主査】 <資料１により報告>
- 【小川 会長】 今の報告について、何かご質問はありますか。
- 【委 員】 <なし>
- 【小川 会長】 それでは報告（２）「平成２９年度トップスポーツとの連携推進の取組み」について、事務局よりお願いします。
- 【草場 主査】 <資料２により報告>
- 【小川 会長】 今の報告について、何かご質問はありますか。
- 【小川 会長】 質問では無いのですが大相撲のふれあい交流ということで白井小に５００人とありますが、結構たくさんの方が来たんですね。
- 【山崎 課長】 地区スポーツ推進委員が中心となって毎年実施しておりまして、近隣の小学生など、たくさんの方に参加していただいています。相撲部屋の方々が実際の取組をはじめ、様々なふれあいイベントをやっておりますので、毎年かなり人気の行事となっております。
- 【小川 委員】 プロゴルフのニチレイレディースとブリヂストンの社会科見学がありますが、子供たちは招待されているのでしょうか。
- 【山崎 課長】 学校に事前に依頼をかけまして、ご招待させていただいておりますので、無料で参加していただいています。
- 【小川 会長】 ほかに質問などありますか。
- 【委 員】 <なし>
- 【小川 会長】 それでは報告（３）「FUN+WALK（歩きやすい服装での通勤推奨）の実施について」、事務局よりお願いします。
- 【草場 主査】 <資料３により報告>
- 【小川 会長】 今の報告について、何かご質問はありますか。
- 【小川 会長】 このプロジェクトの市民への周知方法はどのように考えていますか。
- 【山崎 課長】 本プロジェクトはスポーツ庁が主導となって３月から新たに開始されるものです。市役所の中にも健康づくりに関係のある課が横断的な組織としてありまして、そこを中心となってまずは職員が始めてみて、検証したうえで市内の企業や団体、市民へ発信していく予定としておりますので、市民への発信については、まだこれから詳細を詰めていくというような状況です。
- 【馬場 委員】 職員での検証ということですが、どのような検証をする予定でしょうか。
- 【山崎 課長】 検証方法はいろいろあると思うのですが、実施してみて職員がどのように感じたのか率直な意見を聞いていく中で、検証方法を検討していこうと考えており、現時点で詳細はまだ決まっておりません。
- 【小川 会長】 ほかに質問などありますか。
- 【委 員】 <なし>
- 【小川 会長】 それでは報告（４）「平成２９年度千葉市スポーツ功労者について」、事務局よりお願いします。
- 【宇井担当課長補佐】 <資料４により報告>
- 【小川 会長】 今の報告について、何かご質問はありますか。

【委員】 <なし>

【小川会長】 続きまして議事に入ります。議事（1）、「スポーツ実施率向上に向けた取組みの強化について」、事務局よりお願いします。

【草場主査】 <資料5により説明>

【小川会長】 今の説明について、質問、ご意見等ありましたらお願いします。

【小川会長】 確認ですが、主題候補と副題候補はこの場で決めるのですか。

【山崎課長】 そのように考えています。

【本澤副会長】 主題というのは冊子の表紙に掲載されるものですか。

【内山課長補佐】 そのとおりです。まさに冊子の表紙に記載される文言ですので、手に取ってもらえる、気づきやすいような主題にしたいと考えています。この案につきましては、馬場委員と谷藤委員にもご協力いただいて、学生さんの意見を反映したものを案として提示させていただいております。皆さんの中でこの案についてご意見をいただければと思っております。

【小川会長】 主題候補の「千葉市民のための運動・スポーツガイドマップ」というのはそのとおりの表現だと思いますが、他は標語的な印象を受けます。主題と副題と連動したような形で考える必要がありますね。

【馬場委員】 ターゲットをどうするかということも候補を考える中で重要だと思います。

【内山課長補佐】 基本的には年代をスポット的に絞るのではなく、幅広い年代に向けてと考えていますが、やはり働き世代がスポーツに対して興味が薄いという調査結果がありますので、この層に情報を流したいというのがあります。また、学生など若い世代の方々には市政だよりでいくらか情報提供してもなかなか見てもらえないという現状の中で、若い世代の方々にも手に取っていただきたいと考えています。一方で高齢者の方には見てもらわなくてもいいのかというと、そういうわけにもいかないということで、やはり幅広く受け入れてもらいたいというのが率直なところです。そういう中で、この冊子の作成は今回初めての取り組みでございますので、こうした状況を勘案していただいて、名称についてご意見をいただけると大変助かります。

【馬場委員】 スポーツ実施率と考えるとこの実施率が低い世代を特にターゲットにするのがいいのかなと思います。高齢者の方は比較的元気にウォーキングしたりラジオ体操したり、子供たちは学校で体を動かすし、学生も比較的体を動かしているように感じますが。

【谷藤委員】 学生については意外と体を動かしていないと思います。しかし、学生というよりは、社会人になりたての頃に特に運動をしなくなるように思います。主題については学生の意見というのもあるのですが、体育系の授業で課題として意見を聞いたのですが、意外とスポーツをしていないと言う意見が多かったです。一時期やっていたけれども今はそんなにやっていないという学生が多いのかなという印象です。彼らからするとスポーツという用語が入っているだけでちょっと引いてしまうと、むしろスポーツという文言が入っているものを手に取る人は何もなくても自ら情報を取りに来るので、そうじゃない人をイメージしていくと「運動」というような文言の方が良いのではないかと思いました。「ニコニコ」と言うのはちょうど直前にあった授業の担当の先生が推奨していたのでその影響が強いのかと思います。

【小川会長】 テレビでスポーツ関係の番組を見たのですが、60代以上の方はスポーツ実施率が高い。やはり20代から40代までの実施率は低いということでした。そのためターゲ

ットとしてはやはりこの若い世代が中心になるのかなと思います。

- 【五月女委員】市政だよりは今地域新聞のようにポスティングになったので比較的に見ると思うのですが、今までの市政だよりを見る方の年齢層は把握していますか。千葉市のスポーツ教室で一般を対象とした場合、男性は仕事を退職された方、女性の場合はある程度お子さんが小学生の高学年以上になった女性たちが多いです。そのため、20代から30代の方たちの参加は少ないように思います。そこでこの冊子を作って市政だよりのようにポスティングするのか、もしくはロッテやジェフの試合での千葉市スペシャルデーのような時に来場者に配るのか、この違いでもだいたい年齢層やターゲットが変わってくると思うので、どこでどのような形で配布するのか、もし市政だよりを見る方の年齢層が分かれば、配布方法についても参考にできると思います。
- 【山崎課長】市政だよりにつきましては、実際に見ている年齢層というのは正直把握をしておりません。推測するに全戸配布になっておりますので様々な年齢層に見てもらっているのではないかと思います。また配布方法については、区役所や市内のスポーツ施設で配布しようと考えています。特に区役所では様々な年齢層の方が来ますので、そこで興味を持って手に取ってもらえるような工夫が必要ということで主題等についてもそのような観点で考えていただきたいと思います。
- 【安藤部長】市政だよりについては、新聞折り込みから全戸配布に変わりました。内容も充実させ月に1回の発行になりました。そのため、これまで読んでいなかった方々にも見ていただいていると言う声があるようです。また配布場所については公共施設だけに置くと言うのはなかなかビジネスパーソンに訴求できないかなと思いますので例えば駅前とか、より目に付くところも考えていかなければいけないかなと思っております。
- 【五月女委員】スポーツ施設に置くというのは、運動している人が体育施設に来るわけなので新たなきっかけにはなるとは思います。運動していない人にはなかなか取ってもらえないと思います。PRするのであればロッテやジェフの千葉市スペシャルデーとかの時に一緒に配布してもらおうというようなことの方がきっかけ作りにもなるとは思います。
- 【小川会長】このリーフレットの発行部数はどの程度を想定していますか。
- 【草場主査】5千部程度を予定しています。
- 【谷藤委員】私自身はこのリーフレットの形式は開いて地図になって、畳むとコンパクトになってすごくいいと思うのですが、学生からは非常に不評でした。この年代はスマートフォンが主流なので、画面で小さく見ることに慣れていて、紙面を開いてみるということはないとのこと。電車の中でも我々であれば新聞を開いて見るのですが、このくらいの大きさのものを開いて見ているということ自体が格好悪いというイメージになってしまうようです。しかしながら、いろいろな世代を対象にしているということなので、せめてもう少し小さくするなどの工夫は必要かなと思いました。また、部数の話がありましたが、年1回の発行という事ですが、表紙をパッと見て例えばそこに半袖短パンで公園を走っているような写真があった場合、冬の季節ではそれを取ろうとは思わないとの事でした。やはり冬には冬の格好しているものを、夏にあったか格好をしているものは手に取らないとのこと。そのため、発行が年に2回にならないかなと思いますが、せめて文字もそうなのですが写真とか雰囲気はすごく大事なのだと思います。また置くところは公共施設だけでなく、学生の意見としてはお店にあるのが1番手に取るということでした。

- 【松尾委員】内容についてはこれから詳細が決まっていくと思うのですが、20代から30代の人をターゲットにする場合、例えば気軽にできる運動としてストレッチ体操やウォーキングを紹介していますが、イベント情報欄に実際にこのような運動のイベントを掲載しても、この若い世代はなかなか来ないと思います。簡単にできる運動の種類として若者向けに他に何か案などはありますか。
- 【草場主査】ストレッチや体操と言うのは家の中で1人でもできるものを紹介し、こうしたものも運動になると認識してもらえよう喚起したいと考えているものです。スポーツイベントの情報欄には、これとは別に、大会・イベント等の情報を掲載したいと考えており、この2つは分けて考えています。
- 【馬場委員】実施率向上のためにリーフレットを作って、このリーフレットでどれだけ実施率が上がったのか問われると思うのですが、広く市民に配布して実施率向上を目指すのか、それともどこか実験的に集中配布して、その実施率の状況について検証するのか、配布することが成果となるのか、どのように考えていますか。
- 【内山課長補佐】毎年秋頃にWEBアンケートでスポーツ実施率についての調査を行っており、そこで前年度と比較して実施率がどうだったのかという検証はできると考えておりますが、おっしゃるとおり、一定の場所に集中的に配布して効果を検証するというのも手段としてはいいと思いますので、検討させていただければと思います。
- 【馬場委員】例えば、働き盛りの人をターゲットとすると、子どもが小学生世代の方が多いいと思います。そこで、学校から配布されたものを家に持って帰ってくるので、小学1年生だとだいたい保護者の世代がどれくらいかと思当がつくと思うので、どこか地区を決めて子どもにこのリーフレットを持たせて、保護者に届けさせて、それを見て実際に運動するかどうかということを、後日、実際に見たのか、運動に結びついたかというような調査をして、どんどんリニューアルしていく方がいいのではなかといいと思います。ただ作って広く配ってWEBアンケートで実施率をとっても、どれだけの効果があったのかが分からないと思います。ただ、このやり方だと子どもがいる世代に限られてしまうので、もっと若い世代とかの状況はつかめないという問題はあると思いますが、一つの方法としてはいいと思います。
- 【小川会長】今馬場委員からあった意見は参考意見として事務局よろしくお願ひします。
- 【本澤副会長】掲載内容の中に学校開放事業があり、非常にいいことだと思うのですが、これは区ごとの情報で出すのか、全市版として出すのか、どちらでしょうか。
- 【山崎課長】表面は全市版で、裏面は区版の情報として掲載する予定です。学校開放事業は裏面の掲載を考えていますので、区ごとの情報となります。
- 【小川会長】健康部で発行しているリーフレットはいつ頃から発行されているのですか。
- 【草場主査】10年以上前から発行されているようで、大きさや掲載内容についても利用者の意見を聞きながら、だいたい完成形に近いと聞いています。
- 【五月女委員】主題、副題の文字数などは決まりがあるのでしょうか。例えば「千葉市民のための運動・スポーツガイドマップ」という主題とした場合、これだけで文字数が多いので、副題では「人生を変える楽～な運動」のように短く合わせた方がいいと思います。なので、文字数や文字の大きさについて、構想があるのであれば教えてください。
- 【草場主査】特に文字数や大きさについては決めていませんが、折り畳んで小さくなくても何のリーフレットなのかがある程度分かるようなものが望ましいと考えています。参考

にお配りしている健康部のリーフレットはすでに配布をしているもので、利用者からも好評ということなので、目安としてはこの表記にあるようなものの方がいいと考えています。

【五月女委員】健康部のリーフレットとスポーツのリーフレットは同類のようなものという考えでしょうか。

【草場 主査】そのとおりです。

【五月女委員】それであれば、「千葉市民の運動マップ」のように簡潔な主題で、副題が少し目立つような形が望ましいのかなと思います。個人的には運動という言葉がキーワードになると思うので、「市民のための」というよりも「千葉市民運動マップ」として、あとは砕けたようなサブタイトルにしたらいいのではないかと思います。

【小川 委員】ニュースポーツの定義というのは、「いつでも、どこでも、だれもが、気軽にできるスポーツ」ということで、運動が苦手であっても、ルールが簡単で誰でもできるというようなものです。そのため、「いつでも、どこでも、だれもが、気軽に」というのもキーワードとして、体力作り、健康づくり、仲間づくりを笑顔でニコニコというように、スポーツというよりも運動に近いイメージのものがいいと思います。もう一つ、サイクリングがありまして、千葉市も今自転車の街づくりということでかなり力を入れているのですが、残念なことに、サイクリングロードが花見川や平和公園にあったのですが、これがなくなってしまいました。ただ、働く人たちは運動する時間がないということなので、通勤に自転車を使っています。また、階段を使うとか、国でも推進していますが、そういうのもリーフレットの中で紹介するといいと思います。

【谷 藤 委員】主題は「千葉市民の運動ガイドマップ」くらいにして、副題は「始めよう自分改革：楽しく健康になろう」というのがそのままいいのではないかと思います。やってない人をターゲットにすると、やはり「はじめよう」というフレーズがいいなと思うのと、自分改革というのも、やっていない人がやるきっかけとなるような文言だと思いますので、非常にいいと思います。

【五月女委員】私もそう思います。その中でまた「笑顔」とか他のキーワードになるようなものがあればいいと思いますが、この主題と副題の構成は賛成です。

【小川 会長】谷藤委員、五月女委員からありました候補について、他の委員の皆様のご意見はいかがでしょう。

【委 員】<賛成>

【小川 会長】それでは、この案を審議会としての結論とします。主題、副題とは別に何かご意見等ありますでしょうか。

【馬 場 委員】写真とかイラストとかも重要だと思うのですが、健康づくりマップで若葉区のはライオンの写真が表紙に来ていて、なぜなのかなと思いますが、目を引くように文字だけでなく、パッと見て写真やイラストが目に入ると思いますので、その世代の人たちがパッと目に入るアニメや漫画や人がいると思いますので、そうしたものがあるといいと思います。

【小川 会長】ほかにご質問などありますでしょうか。

【委 員】<なし>

【小川 会長】続きまして議事（２）、「千葉市のスポーツ推進についての提言（案）」について、事務局よりお願いします。

【草場 主査】<資料6により説明>

【小川 会長】今の説明について、質問、ご意見等ありましたらお願いします。

【谷藤 委員】提言の中で「スポーツと言うと競技スポーツのような負荷の重いものばかりが連想され」とあるのですが、「負荷が重い」という文言はなくてもいいと思います。「負荷」というと体の負荷みたいなイメージがあるのですが、競技スポーツはそうしたもののばかりでもないのです。また、「ウォーキングなどの軽運動についてもスポーツとして実施されるよう」とあるのですが、「スポーツとして実施」というのは、スポーツ実施率ということでこの記載があるのかなと思いますが、調査でもスポーツ・レクリエーションとか運動とかの文言で聞いているので、「スポーツとして」は削除してもいいのかなと思います。あともう一つ、「国やスポーツ関係団体とも連携を」とありますが、関係団体はスポーツだけでなく、健康の団体もあり、そうしたところも連携していく方がいいと思うので、「国や関係団体とも連携を」とした方がいいと思います。

【小川 会長】確かに「負荷」というと体に非常に負担がかかるような意味合いに考える人が多いと思いますので、「競技スポーツのようなものばかりが連想され」という文言でいいと思いますが、いかがでしょうか。また、ウォーキングもスポーツ実施率の調査ではスポーツの定義の中に入っていますよね。そのため、今現在もスポーツとして実施しているというものですので、これも谷藤委員の言うとおりでいいと思います。

【安藤 部長】おっしゃる通りでございますので、いただいた意見を踏まえて、再度会長にご覧いただきまして、確定させていただければと思います。

【小川 会長】それでは本件については事務局と私の方で協議ということでよろしいでしょうか。

【委 員】<了承>

【馬場 委員】基本的なことで、このタイミングで審議会から提言を出すというのは決まりがあるのでしょうか。

【内山課長補佐】審議会の皆様の任期が2年となっております。先ほど会長からもありましたけれども、任期の中で本日が最後の審議会となります。この2年のご審議いただいた内容の総まとめと言いますか、市に対して今期の委員の皆様からのまとめということでご提言をいただくというものです。

【馬場 委員】この提言は誰に対して出すものですか。

【内山課長補佐】市長に対して提出するのです。審議会から市に対してこのような取組みをお願いしたいというものです。

【小川 会長】ほかにご質問などはありますでしょうか。

【委 員】<なし>

【小川 会長】それでは、以上で協議を終了します。2年間大変お疲れ様でした。ご協力ありがとうございました。進行を事務局にお返しします。

【内山課長補佐】それでは、これもちまして、平成29年度第3回千葉市スポーツ推進審議会を終わらせていただきます。2年間にわたり、ご審議いただきまして、誠にありがとうございました。

閉 会 午後3時10分